

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第2回麻溝地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		麻溝まちづくりセンター 電話042-778-2381 (直通)		
開催日時		令和6年9月17日(火) 19時30分～21時40分		
開催場所		麻溝公民館 大会議室		
出席者	委員	22名(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	3名(麻溝まちづくりセンター所長ほか2名)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	4名
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		<p>1 あいさつ</p> <p>2 行政説明 THIS FES' 24 in Sagamihara (市長公室市制施行70周年記念担当)</p> <p>3 議題 (1) 最終処分場部会について ア 要望書に関する各団体意見 イ 地域住民の意見反映 (2) 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について (3) 地域活性化事業交付金について (4) 今後の予定について</p> <p>4 情報交換(地域に関する課題や地域向けのイベント等について)</p> <p>5 閉会</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(◎は会長の発言、○は委員の発言、■は所管部局の発言、□は麻溝まちづくりセンターの発言)

1 あいさつ

(1) 会長あいさつ

会議開催にあたり、麻溝地区まちづくり会議 中島会長よりあいさつした。

2 行政説明

THIS FES' 24 in Sagamihara (市長公室市制施行70周年記念担当)

資料に基づき、担当から説明があった。

<主な意見・質疑>

○開催時間は。(井上國雄委員)

■両日ともに8時30分入場開始、演奏は11時から19時30分までを予定している。

○当日は風っ子展も開催され、例年多くの親子連れが車で来場している。駐車場は確保されているのか。(山口委員)

■フェス参加者には公共交通機関やシャトルバスを案内し、車での来場をご遠慮いただくよう案内している。

○音漏れ目的で集まる人の対策は。(座間富治男委員)

■主催者は、他のフェスでの経験から音漏れ目的の人は多くないと見込んでいる。

○これまでロックフェスに参加してきたが、会場周辺は駐車場問題が課題となっていた。近隣の畑に勝手に停めてしまうのではないか心配だ。(座間富治男委員)

■来場者向けに特設駐車場として約700台分を淵野辺公園に隣接する留保地に準備し、そこからシャトルバスで送迎する予定であり、会場への直接の車での来場はしないようアナウンスしている。

○7,500人を原当麻駅で終電まで4時間かけて乗車させるということは、駅前に滞留する人が多数となるがその対策は。(座間富治男委員)

■原当麻駅構内及び周辺での滞留者を減少させるためにフェス終演後までキッチンカーの食事提供時間を延長するなど、終演後も会場内に留まることが出来るような工夫をする予定となっている。

○安全確保のため、駅構内にも人材を配置してほしい。(座間富治男委員)

■主催者にしっかりと伝える。

○地域への説明には主催者に来てほしい。開催1か月前になっても場外警備やJRの増便対応などの詳細が決まっておらず地域としては心配だ。女子美祭とも同日開催

であり、当日の地域住民への影響は大きいと考えている。(伊藤委員)

■主催者にしっかりと伝える。

○主催者であるディスクガレージはフェス開催の経験が豊富なので、様々な対策を任せて安心なのは。(栗山副会長)

○フェス会場周辺では人が音楽に吸い寄せられてくる。何が起きるか分からないのが音楽フェスだ。(座間富治男委員)

■様々な事態に備えられるよう努めていきたい。

○ディスクガレージはプロだが、この会場は初めての開催場所となる。雑踏警備を手厚くして、フェスを是非とも成功させてほしい。(伊藤委員)

■以前いただいた「終了後に想定外だったという言葉は聞きたくない。」という意見は改めて主催者にしっかりと伝える。

○原当麻駅の終電は通常どおりか。帰宅困難者が出るのは課題だ。(箕輪委員)

■終電は通常どおりの時刻の予定である。帰宅困難者の発生が一番心配されるのは原当麻駅だが、シャトルバス利用に誘導するなどして対応する。

○原当麻駅にタクシーを増便するのか。(座間富治男委員)

■会場のギオンスタジアムのタクシー乗り場を移設して、より多くのタクシーが滞留できるようにする。

○ギオンスタジアムでのイベント開催時には下溝駅を利用する人もいる。度々、道に迷った人から尋ねられることがある。駅前の県道の歩道は狭いので、車道に人が溢れないよう案内されたい。(座間富治男委員)

○駅で騒がれるかもしれない。周辺住民にとっては迷惑となる。(箕輪委員)

○路線バスは利用しないのか。(座間富治男委員)

■路線バスについては女子美術大学への配慮により主催者からは案内していない。

○交通案内はどのような内容なのか。(友部委員)

■主催者がホームページでお知らせしている。

○公共交通は案内しないと聞いていたが。(友部委員)

■JR等との関係公共交通機関と協議して決めていると聞いている。

○当日は女子美祭のため、大学から神奈川中央交通に臨時便を頼んでおり、最終便は19時30分としている。フェスの終演が19時30分だと、大学の最終便に影響が出ないか心配だ。路線バスに人が流れないように対策してほしい。(友部委員)

○場外警備について、何メートルおきに配置するかなどの基準や人数は。(友部委員)

■警察からの指導に基づき交差点ごとに配置しているが、この配置案をベースに今後調整して増やしていく予定となっている。

○風っ子展と女子美ミュージアム利用者用の駐車場も課題である。風っ子展は市の主催イベントでもあるので、風っ子展の来場者が困らないように、第4駐車場の半分

は利用できるよう教育委員会とも調整されたい。(友部委員)

○下溝駅構内にも駅員の配置を。無人駅なので。(座間富治男委員)

■主催者にしっかりと伝える。

○10/26(土)に相陽中学校で卓球大会が開催される。一部の通学路と被るので対策されたい。(原田委員)

■中学校に確認のうえ主催者に伝える。

◎フェス開催は初めてのケースだが、いろいろと踏まえた中で警備などに取り組んでほしい。

■いずれにしても事件・事故の発生なく、地域の皆様へのご迷惑をなるべくおかけしないように主催者と共に取り組んでいくので、ご理解をよろしくお願いします。

3 議題

(1) 最終処分場部会について

資料1に基づき、中島部会長から前回まちづくり会議以降の協議経過を報告した。

ア 要望書に関する各団体意見

<主な意見>

○自治会長会議にて意見聴取を行ったところ、資料のとおり意見が出された。処分場がいらなくなるように、ごみ減量化等をやってもらうこと。跡地利用を含めてイメージアップできるものを求めていきたい。麻溝優遇策などもあると良い。(伊藤委員)

○公民館職員に意見聴取を行ったところ、よく分からないので意見を出しづらいとのことであった。先ずはごみ処理の現状や課題を知ることから始まると思う。(田村委員)

○先日、地区社会福祉協議会役員会にて意見聴取を行ったところ、処分場や要望書の内容にピンとこない人が多かった。要望書については、部会での話し合いによりまとまったものであるのでは概ねこの内容で良いと思う。(境副会長)

○青少年健全育成協議会役員会にて意見聴取を行ったところ、処分場については、安全性を確認できるデータ・資料の開示や大規模災害時の対応策などについて、定期的な説明により地域に知らせてほしいとの意見が出された。ごみの減量化については、資源化やリサイクルなど分別後の流れが分からないから意見が出せないとのことであった。地域振興策については賛成で、太陽光パネル設置は火災が起きるから反対だ。処分場部会と地域住民の思いに乖離があると感じる。(井上國雄委員)

○個人的な意見になるが、東京23区ではごみ回収を有料化すること。立川市は有料化後に17%減量したとのこと。相模原市も有料化して、麻溝地区は袋を配布するなどの優遇策があっても良いのではないか。(山口委員)

○夢の丘小学校PTAでは役員に意見聴取を行ったところ、処分場跡地に全天候に対応可能なスポーツ広場が出来たら良いのではとの意見が出された。施設を造って終

わりではなく、大規模な大会の誘致など有効活用できる事業も実施してほしい。処分場もその跡地も、市民に感謝される場所になってほしい。また、先ほどのメガソーラーの火災については、確かに一度火が出ると何日も消せないということはある。(五十嵐委員)

◎概ねこの内容で要望書をまとめることとしてよろしいか。

= 一同異議なし =

イ 地域住民の意見反映

<主な意見>

○要望書を提出することで、麻溝地区はOKを出したということになってしまうのか。心配をしている。(内田委員)

◎麻溝が受ける前提ではないが、可能性は排除出来ず高い面もある。

○峰山霊園の時も反対はあったが結局できた。麻溝が後始末の場所みたいになっているのは残念だ。麻溝の人は良い人たちだから押し付けられていると思う。駆け引きとして要望書を提出するとOKと思われてしまうのではないか。(内田委員)

◎要望事項はかなり難しい条件になっている。決して麻溝地区が簡単に受けるという話ではない。要望書を提出しないと、いつの間にか麻溝になってしまう可能性はある。

○ごみが有料化されたら、麻溝地区は割引してもらったらどうか。(座間富治男委員)

◎有料化は経済的弱者の問題もある。いろいろな配慮は必要と思う。

○どこかのタイミングでは、地域住民に情報共有してほしい。(五十嵐委員)

○部会で検討してきた要望事項であり、これまで地域の人には処分場に関するちらしを配布して可能性は知らせてきた。要望書を配布して承知してもらおう方法で良いと思う。また意見を聞くと初めからになってしまう。(境副会長)

◎要望の第2弾があって良いと思う。時機を逸しないためにも、今回提案した要望書を提出していきたい。

= 一同異議なし =

◎多くの人に見てもらおう機会を作っていきたい。

(2) 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について

麻溝まちづくりセンターより資料2に基づき、今年度の麻溝地区まちづくりを考える懇談会の実施希望の状況及び実施要領等について説明した。

<主な意見>

◎先ほどの議題にて要望書を提出することとなったので、要望書の内容について懇談したいと考えている。

○ごみ集積所についても課題であると思う。不法投棄もある。(五十嵐委員)

◎地区自治会連合会でも継続協議している課題である。良い解決策はないが、市は自治会管理という立場をとっている。ごみを出せば市が片付けてくれると思っている人が多い。懇談会のテーマについて、要望書についてということによろしいか。

= 一同異議なし =

(3) 地域活性化事業交付金について

麻溝まちづくりセンターより資料3に基づき、昨年度に引き続き令和6年度に地域活性化事業交付金の活用を予定している「おもしろ防災まつり～ドキドキわくわく楽しみながら防災を知ろう～」の昨年度実績について説明した。交付金の決定前にまちづくり会議から意見徴取を行っており、今後申請があった際の手続きについて、役員会又は書面による意見徴取の何れかの方法によることとする旨を確認した。

◎市の広報紙9月1日号の防災特集にも掲載されるなど、多世代が楽しみながら防災意識を高められる有意義な事業であり、参加者アンケートでも大変好評であった。まちづくり会議の意見徴取手続きについて、まちづくりセンターの説明どおりで良いか。

= 一同異議なし =

(4) 今後の予定について

麻溝まちづくりセンターより資料4に基づき、麻溝地区まちづくり会議の予定について説明した。

◎現在決まっているのは最終処分場部会を9月下旬頃に開催すること。先ほど、今年度の麻溝地区まちづくりを考える懇談会を開催する予定となったため、次回第3回開催日程を11月22日(金)として良いか。

= 一同異議なし =

4 情報交換(地域に関する課題や地域向けのイベント等について)

○夢の丘小学校管区で「お月見イベント」を実施している地域がある。先日、こどもが古山地区の友達に誘われたが、自分の自治会では実施しておらずお返しができないため他地区の行事は参加しないように話した。麻溝地区として実施出来たら区内の子どもたちが皆で参加できるので、例えば健全育成協議会などで実施してもらえると有難い。(五十嵐委員)

5 閉会

麻溝地区まちづくり会議 栗山副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

麻溝地区まちづくり会議 委員名簿

No.	団体名	委員		まちづくり 会議での役職	出欠
		団体での役職	氏 名		
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長	出
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕		出
3	麻溝公民館	館長	田村 光弘	副会長	出
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長	出
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	栗山 雄一	副会長	出
6	麻溝観光協会	副会長	内田 明		出
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見		出
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次		出
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市		出
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	安藤 正義		欠
11	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄		出
12	麻溝商工振興会	会長	石原 武		出
13	麻溝公民館運営協議会	委員	佐藤 文雄		出
14	相模原市スポーツ推進委員	委員	小原 隆		出
15	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆		出
16	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	座間 富治男		出
17	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	川崎 敬一		出
18	麻溝小学校PTA	会長	井上 雄輔		欠
19	夢の丘小学校PTA	会長	五十嵐 康晴		出
20	相陽中学校PTA	副会長	原田 美佳		出
21	当麻地区まちづくり委員会	会長	本多 展克		出
22	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一		欠
23	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿		出
24	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎		出
25	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀		出
26	県立相模原支援学校	教頭	荒井 佑輔		欠

令和6年度 第2回麻溝地区まちづくり会議 次第

日 時 令和6年9月17日(火)

午後7時30分から

場 所 麻溝公民館 大会議室

1 会長あいさつ 午後7:30~7:35

2 行政説明 午後7:35~7:55

・THIS FES' 24 in Sagamihara (観光・シティプロモーション課)

3 議題 午後7:55~8:55

(1) 最終処分場部会について

資料1

ア 要望書に関する各団体意見

イ 地域住民の意見反映

(2) 麻溝地区まちづくりを考える懇談会について

資料2

(3) 地域活性化事業交付金について

資料3

(4) 今後の予定について

資料4

4 情報交換(地域に関する課題や地域向けのイベント等について)

午後8:55~9:10

5 その他

令和6年度 麻溝地区まちづくり会議委員名簿

No.	団体名	委員		まちづくり 会議での 役職
		団体での 役職	氏 名	
1	麻溝地区自治会連合会	会長	中島 勝平	会長
2	麻溝地区自治会連合会	副会長	伊藤 信裕	
3	麻溝公民館	館長	田村 光弘	副会長
4	麻溝地区社会福祉協議会	会長	境 勉	副会長
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	会長	栗山 雄一	副会長
6	麻溝観光協会	副会長	内田 明	
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	座間 正見	
8	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	加藤 賢次	
9	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	副支部長	箕輪 良市	
10	麻溝地区老人クラブ連合会	会長	安藤 正義	
11	麻溝地区青少年健全育成協議会	会長	井上 國雄	
12	麻溝商工振興会	会長	石原 武	
13	麻溝公民館運営協議会	委員	佐藤 文雄	
14	相模原市スポーツ推進委員	委員	小原 隆	
15	相模原市青少年指導委員	代表	山口 隆	
16	相模原市農協麻溝支店運営委員会	委員長	座間 富治男	
17	相模原市消防団南方面隊第1分団	分団長	川崎 敬一	
18	麻溝小学校PTA	会長	井上 雄輔	
19	夢の丘小学校PTA	会長	五十嵐 康晴	
20	相陽中学校PTA	副会長	原田 美佳	
21	当麻地区まちづくり委員会	会長	本多 展克	
22	学校法人 北里研究所	次長	村川 健一	
23	学校法人 女子美術大学	校友室主幹	友部 徳寿	
24	麻溝地域包括支援センター	管理者	細山 賢太郎	
25	学校法人光明学園 相模原高等学校	校長	天野 雅秀	
26	県立相模原支援学校	教頭	荒井 佑輔	

令和6年度麻溝地区まちづくり会議 最終処分場部会について

・「最終処分場部会」(令和5年5月19日設置)

(1) 設置目的

麻溝地区の重要課題である一般廃棄物最終処分場に関する課題解決のために必要な対策の検討や情報交換、市との協議など、将来を見据えた取り組みを継続的に行うことを目的とする。

(2) 委員数 16名

(3) 令和6年度の開催状況(4回 ※現在まで)

■候補地(緑区根小屋)視察:令和6年4月19日(金)出席5名

①第1回:令和6年4月23日(火)出席11名

・市の関係部署(廃棄物政策課、資源循環推進課、清掃施設課)による説明、意見交換を実施した。

②第2回:令和6年5月10日(金)出席10名

・今後の部会の進め方について、検討した。

※第2回までは第1回麻溝地区まちづくり会議で報告済み

③第3回:令和6年7月16日(火)出席8名

・まちづくり会議として要望書を提出することについて、検討した。
・要望書提出後に「まちづくりの視点(補償)」及び「ごみ減量化に向けた協働」についてのワーキンググループを展開する。

■要望書打合せ①:令和6年7月25日(木)出席3名

■要望書打合せ②:令和6年8月9日(金)出席3名

④第4回:令和6年8月19日(火)出席10名

・要望項目について検討し、まちづくり会議で各団体からの意見を確認する。
・地域情報紙や公民館内掲示の他、チラシ(別紙参照)を活用して地域意見を確認する。

麻溝地区まちづくり会議 最終処分場部会 委員名簿

(令和6年5月10日現在)

No.	団体名	氏名	役職
1	麻溝地区自治会連合会	中島 勝平	部会長
2	麻溝地区自治会連合会	伊藤 信裕	
3	麻溝公民館	田村 光弘	
4	麻溝地区社会福祉協議会	境 勉	
5	麻溝地区民生委員児童委員協議会	栗山 雄一	
6	麻溝観光協会	内田 明	
7	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	加藤 賢次	
8	麻溝地区青少年健全育成協議会	井上 國雄	副部会長
9	麻溝商工振興会	石原 武	
10	麻溝小学校PTA	井上 雄輔	
11	学校法人 女子美術大学	友部 徳寿	
12	あさみぞみんなのコミュニティ	中臺 博	
13	株式会社スポーツクラブ相模原	宮城 國彦	
14	麻溝ジュニアリーダーズクラブ	新倉 健	
15	原当麻下自治会 (会長)	山口 誠	
16	麻溝小学校PTA (顧問)	矢萩 直樹	

要望項目
(麻溝地区として次期処分場の整備を受け入れざるを得ない場合の条件)

1 次期処分場の次は処分場を造らないこと

2 更なるごみ減量化を推進すること

要望項目1の達成に向け、次の内容を踏まえたロードマップを提示すること

処分場の整備が難しいことを市民に知らせること

ごみ排出量を削減すること(4R、分別、有料化、戸別収集等)

埋立量を減らすための施策を推進すること

3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること

県道52号、バスルート、跡地活用、処分場周辺のまちづくり等に関するワーキンググループを組織し、話し合った地域振興策を実現すること

要望理由

1 次期処分場の次は処分場を造らないこと

麻溝地区にある現在の一般廃棄物最終処分場は、埋立容量を増やすために嵩上工事が計画されていますが、それでも現在のペースで埋立てを続けると、令和19年には満杯になると見込まれています。そのため、市は令和4年3月、現在の処分場に隣接する麻溝地区の2箇所を、津久井地区の2箇所とともに次期処分場候補地として選定しました。4箇所の候補地は、市内に処分場に適した場所がなかったことから、様々な対策等を講じて処分場が整備できる可能性のある場所として選ばれたに過ぎません。いずれの候補地も地域にとっては大切な土地であり、本来は候補地となるような場所ではありません。

2 更なるごみ減量化を推進すること

**要望項目1の達成に向け、次の内容を踏まえたロードマップを提示すること
処分場の整備が難しいことを市民に知らせること**

市はこの先市内に処分場を整備していくことが難しいという事実をきちんと周知しておらず、多くの市民は、処分場の問題が切迫し、危機感を持って更なるごみの資源化・減量化に取り組む必要があることを理解していません。

ごみ排出量を削減すること（4R、分別、有料化、戸別収集等）

近年の異常気象の原因と言われる地球温暖化防止の観点からも、脱炭素社会の実現に向けた取組は重要であり、ごみの資源化・減量化には最優先で取り組むことが求められています。ごみを出さない人はひとりもおらず、誰もが自分事として考えなければならない問題ですが、残念ながら、未だに「ごみは集積所に出しさえすれば、市が無料で処理してくれる」と思っている市民が多いのが現実です。4Rの推進だけではなく、ごみに対する市民の意識を変え、行動に移してもらえる新たな施策の実施が、今こそ必要ではないでしょうか。

埋立量を減らすための施策を推進すること

現処分場の延命化及び次期処分場のダウンサイジング、次期処分場の次の処分場を造らないようにするため、スラグの更なる活用や焼却残渣の資源化などの施策実現に向けて全力を挙げて進めてもらう必要があります。

3 行政と地域がともに考える地域振興策を実現すること

県道52号、バスルート、跡地活用、処分場周辺のまちづくり等に関するワーキンググループを組織し、話し合った地域振興策を実現すること

ごみ処理施設が集中し、これまで市内全域のごみを受け入れてきた麻溝地区としては、さらに麻溝地区だけが負担を強いられる形で次期処分場を受け入れることには疑問の声が多々あります。単に「市民生活に必要な施設だから」というだけでは受け入れはできません。どんなに立派な施設を造ったとしても、所詮は迷惑施設に変わりないということも理解すべきです。

要望項目に係る各団体からの意見

No.	団体名	意見
1	麻溝地区自治会連合会	<p>【主な意見(白井副会長)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋め立て後の跡地利用を考え、現処分場の嵩上げはせず、隣接地と同レベルにし、広く有効な土地利用ができるよう希望する。 ・現処分場の段階から、地域住民による監視委員会的な機能を設け、検査立ち合いを含め、定期的に開催し、地域住民の理解などを図って頂きたい。 ・麻溝地区内にある清掃工場や粗大ゴミ処理施設などいわゆる迷惑施設と言われる清掃関連施設が集約していることから、地域内住民の直接搬入ゴミの無料化または減免措置を検討していただきたい。 ・不燃物の埋め立てについて、処理困難物の埋め立て不可はもちろんのこと、できる限り減融化、縮小化並びにスラグの活用方法をさらに進めて頂きたい。 ・義務教育の中でごみ減量化についての学習を取り入れる。 ・一般ごみの草木、剪定枝の日を別に設ける。 ・現在の処分場も含め、跡地利用については、若い層からの意見も。 ・最終処分場隣接及び周辺の地価がイメージダウンにより、下落しないよう配慮して頂きたい。 ・最終処分場埋め立て用車両の搬送ルートの明確化、搬送時間及び搬送車であることが分かるような表示をするとともに、交通渋滞が起きないよう、安全性を考慮した道路の拡幅、歩道との分離(未整備地区)など、事前に整備を行って頂きたい。 ・南区の合同庁舎又は公共機関を南区の中心に近い当エリアに移転整備し、駅からの運行バス等の検討を行って頂きたい。(公的機関の集中) ・跡地利用については、安全であるということであれば、市民の利用価値の低い施設ではなく、多目的屋内施設(防災拠点施設兼用)など、市民が広く利用できる付加価値の高い施設を検討して頂きたい。
2	麻溝公民館	<p>【職員(麻溝地区以外に居住)の意見まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ処理の現状がよく分からない、ゴミがどのように処理され、何がどれだけ最終処分場に運ばれるのか教えて欲しい。 ・分別をしっかりとやっているのに、その成果はどうなっているのか、どれだけゴミの削減につながっているのか知りたい。 ・最終処分場に捨てるしかないモノとは何で、それのおおともの一般ゴミとは何かを教えてください、それを減らせれば最終処分場は作らなくていいのではないかと、ゴミ問題をもっと詳しく教えてもらわないと意見が出せない。 ・現状を知らされていないので、難しい、よくわからない。 ・最終処分場がない所もあると聞いたことが有るが、なぜ相模原は必要なのか。 ・麻溝だけでなく全体の問題として取り組まなければいけないのではないかと。 ・最終処分場から変なモノが漏れださないか心配。 ・最終処分場みたいなものは、近くにあってほしくない。 ・跡地に公園ができたらいいと思う。 ・跡地利用のしっかりした説明があるのなら、反対はしないのではないかと。 ・要望書は、よく考えられてまとまっていると思う、その通りだと思う。

3	麻溝地区社会福祉協議会	
4	麻溝地区民生委員児童委員協議会	
5	麻溝観光協会	
6	安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	
7	麻溝地区老人クラブ連合会	
8	麻溝地区青少年健全育成協議会	
9	麻溝商工振興会	
10	麻溝公民館運営協議会	
11	相模原市スポーツ推進委員	
12	相模原市青少年指導委員	
13	相模原市農協麻溝支店運営委員会	
14	相模原市消防団南方面隊第1分団	
15	麻溝小学校PTA	
16	夢の丘小学校PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地について、屋外スポーツに使用できる全天候対応可能な人工芝で屋根などの付いた施設であればいいなど考える。 ・宿泊施設なども近くに併設できれば、大きな大会なども誘致することができ、相模原大会と銘打って知名度アップにもつながる未来像を描く。 ・欲を言えば、麻溝地区の小中学校は賃借料を安くするなどの有利があると嬉しい。
17	相陽中学校PTA	
18	当麻地区まちづくり委員会	
19	学校法人 北里研究所	
20	学校法人 女子美術大学	
21	麻溝地域包括支援センター	
22	学校法人光明学園 相模原高等学校	
23	県立相模原支援学校	

地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について（回答）

地区名	麻溝地区	
実施希望	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">有</div> ・ 無	
希望日 (希望「有」の場合)	第1希望	<div style="border: 2px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;">未定</p> <p style="text-align: center;">(1月～2月頃を想定)</p> </div>
	第2希望	
	第3希望	
会場	麻溝公民館 大会議室	
テーマ概要 (提出日時点で決まっている場合に記入してください。)	未定	
備考	<p>令和6年6月27日開催の麻溝地区まちづくり会議役員会で実施を希望することに決定。希望日及びテーマは今後の麻溝地区まちづくり会議（全体会）で検討。</p>	
担当者 (連絡先)	麻溝まちづくりセンター 大嶋 (778-2381)	

※開始時間は原則として午後6時から1時間30分程度ですが、協議により変更可能とします。

令和6年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領

1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

3 開催単位

実施希望地区のみ年1回1会場までとする。

4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

5 開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は原則午後6時からとし、協議により変更可能とする。

(まちづくり会議側からの希望がある場合は、昼間の実施も可能とする。)

6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね1時間30分とする。

7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長（市長公室長含む。）及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等で対応できない場合がある。

8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（二つ以内）。

【テーマの考え方】

- ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
- イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

令和6年度 地区まちづくりを考える懇談会の流れ

- (1) 開会（まちづくり会議委員）
- (2) 出席者の紹介（まちづくり会議委員・市側出席者）
- (3) まちづくり会議代表あいさつ
- (4) 市長あいさつ
- (5) 懇談

※議論の視点「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何か
という視点から建設的な懇談の場とする。

- ・テーマの内容をまちづくり会議から説明（パワーポイント、資料等）
- ・テーマに関連する市や区の実践等について説明（関連する区長、局長等）
- ・テーマについての懇談
- ・まちづくり会議代表あいさつ

- (6) 市長あいさつ（感想）
- (7) 閉会

令和5年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	おもしろ防災まつり ～ドキドキわくわく楽しみながら防災を知ろう～ 【 No. 3 】
申請団体	麻溝防災まつり実行委員会
事業目的等	<p>◇事業目的</p> <p>コロナ禍を経て、単位自治会における防災訓練の開催を見通すことが困難である中、自治会加入未加入の区別なく、楽しみながら防災意識を高め、参加者に向けて防災知識や備蓄など「自助」の取り組みの実施につながる体験等を提供するとともに地域防災活動の担い手育成を推進することを目的とする。なお、事業内容が防災関連のみでは子ども達(子育て世代)の来場はあまり期待できないため、会場に足を運びたいくなるような「炊き出し企画」や「こども企画」、「体験企画」を組み込むことにより、まずは来場してもらい、併せて防災意識を高めてもらう。また、自治会未加入世帯に対しては自治会活動の必要性を周知し、加入促進を図るもの。</p>
交付決定日	令和6年1月12日
交付確定金額	433,000 円 (全体事業費 433,439 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <p>【日時】令和6年2月4日(日)10時30～14時30分 【会場】麻溝公民館(第一駐車場及び第二駐車場含む) 【参加者】約1,000人 【内容】スタンプラリー企画における防災体験(起震車、電気自動車の活用、マイタイムライン作成、防災アプリ、段ボールベッド展示、防災講演会、防災用品展示、災害救助犬デモンストレーション、避難所運営 VR 体験、119番通報ゲーム、AED 講習)、炊き出し食の体験(防災カレー、豚汁うどん、焼き芋)、段ボールこたつ体験(段ボールこたつカフェ:珈琲、クレープ)、こども企画(水消火器で射的、ミニ消防服で記念撮影、麻溝ジュニアリーダーズクラブによるこども遊び、SC相模原によるサッカーゴルフ)、アンケートコーナー(麻溝地区自治会連合会による自治会加入促進)</p> <p>◇自己評価</p> <p>メインターゲットを「子ども」としたことにより、子ども達(親子連れ)の参加が多く、子育て世代を上手く呼び込むことができた。 想定以上の参加者数となり、次年度以降に改善すべき点もあるが、参加者及び運営スタッフともに楽しみながら実施できたことで地域の絆がより一層深まったと考える。 また、参加者アンケート結果から今回のおもしろ防災まつりの実施により、地域住民の防災意識の向上及び地域の活性化において十分な効果があったと考える。</p>
市評価	事業目的である自治会加入未加入の区別なく、楽しみながら防災意識を高め、参加者に向けて自助の取組実施につながる体験等を提供するとともに地域防災活動の担い手育成を推進することを見事に成し遂げた。また、多くの参加者が確認でき、十分な実績及び成果があったといえる。
備考	

令和5年度 収支決算書

1 収入の部

科 目	本年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	増 減 (A) - (B)	説 明
市交付金	433,000円	500,000円	-67,000円	
自己負担金	439円	1,000円	-561円	
収入合計	433,439円	501,000円	-67,561円	

2 支出の部

科 目	本年度決算額 (A)	本年度予算額 (B)	増 減 (A) - (B)	説 明
消耗品費	177,510円	151,000円	26,510円	ポスター、プログラム、 のぼり、A4用紙、 模造紙、容器など
材料費	137,472円	190,000円	-52,528円	【炊き出し企画】 ・レトルトカレー500食 76,415円 ・豚汁うどん300食 46,057円 ・焼き芋200食 15,000円 ※無料配布
委託料	80,000円	80,000円	0円	【体験企画 (段ボールこたつカフェ)】 ・クレープ200食 (ココカライフ) 60,000円 ・珈琲200杯 (カフェコメルシオ) 20,000円 ※無料配布
保険料	8,457円	50,000円	-41,543円	レクリエーション保険
報償費	30,000円	30,000円	0円	謝礼 (炊き出し指導)
支出合計	433,439円	501,000円	-67,561円	

※特別経費：交付対象経費のうち1万円を超える財産を購入する場合は、この欄に記入

令和6年度 麻溝地区まちづくり会議等 開催日程

会議名	日時	会場
次期一般廃棄物 最終処分場候補地 (緑区根小屋) 視察	4 月 19 日 (金) 午前10時00分～	緑区根小屋
①最終処分場部会	4 月 23 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
②最終処分場部会	5 月 10 日 (金) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
第1回全体会	5 月 24 日 (金) 午後7時30分～	麻溝公民館 大会議室
③最終処分場部会	7 月 16 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
④最終処分場部会	8 月 19 日 (火) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
第2回全体会	9 月 17 日 (火) 午後7時30分～	麻溝公民館 大会議室
⑤最終処分場部会	9 月 27 日 (金) 午後7時00分～	麻溝公民館 コミュニティ室
まちづくりを考える 懇談会	未定 (1月～2月頃を想定)	麻溝公民館 大会議室

※第2回目以降の全体会は、別途日程調整し、開催

※全体会とは別日に、役員会を適宜開催